

中津川市と直下型地震

直下型地震の発生について

6,000人以上の命が失われた阪神・淡路大震災、最大震度7を記録した新潟県中越地震は、活断層が動いたことにより発生した「直下型地震」でした。活断層とは、将来、地震を引き起こす可能性がある断層のことで、日本全国に約2,000か所以上が分布しているといわれています。

中津川市内にも阿寺断層帯、屏風山断層帯・恵那山 - 猿投山北断層帯、木曽山脈西縁断層帯という3つの断層帯が確認されています（中津川市の活断層マップのページ参照）。活断層により引き起こされる直下型地震は、震源が浅いため局地的に大きな被害をもたらす恐れがあり、十分な備えが必要です。



中津川市の活断層

	断層名	断層の概要
阿寺断層帯	阿寺断層南部 構成する主な断層： 阿寺断層、野久保断層、城ヶ根山断層、小和知断層等	中津川市神坂地区から坂下地区、付知地区等を経由して下呂市に至る延長約66kmの断層で、北部(下呂市)と南部(中津川市)とに2分される。南部(中津川市)ではマグニチュード7.8程度の地震の発生が予想され、4～5m程度の左横ずれが生じる。また、断層帯全体が同時に活動する可能性もあり、その際にはマグニチュード7.9程度の地震が発生すると推定される。
	佐見断層 構成する主な断層： 佐見断層、笹峠断層、鳥屋峠断層等	加子母地区から七宗町に至る延長約25kmの断層で、マグニチュード7.2程度の地震の発生が予想され、2m程度の右横ずれが生じる。
	白川断層 構成する主な断層： 白川断層、東白川断層等	加子母地区から七宗町に至る延長約31kmの断層で、マグニチュード7.3程度の地震の発生が予想され、2～3m程度の右横ずれが生じる。
恵那山 猿投山北断層帯	屏風山断層 構成する主な断層： 屏風山断層、手賀野断層、蕨平断層	中津川市から恵那市に至る延長約15kmの断層で、マグニチュード6.8程度の地震の発生が予想され、1m程度の上下のずれが生じる。
	恵那山 - 猿投山北断層 構成する主な断層： 恵那山断層、飯沼断層、川上断層、奥平断層等	中津川市から瑞浪市を経由して愛知県豊田市北西部に至る延長約51kmの断層で、東部と西部に2分され、マグニチュード7.7程度の地震の発生が予想され、2～3mの南東側隆起の逆断層が生じる。
木曽山脈西縁断層帯	馬籠峠断層南部	長野県日義村から木曽福島町、南木曽町を経由して中津川市東部山口地区・神坂地区に至る延長約46kmの断層で、北部(日義村～南木曽町)と南部(南木曽町～中津川市東部山口地区・神坂地区)に2分され、マグニチュード6.3程度の地震の発生が予想され、1m未満程度の右横ずれが生じる。また、木曽山脈西縁断層帯主部全体が同時に活動する場合には、マグニチュード7.6程度の地震が発生すると推定される。

中津川市の活断層マップ

活断層とは、比較的最近まで活動しており、今後も活動する可能性のある断層のことです。活断層が動くことで、新潟県中越地震のような「内陸型地震」が発生する恐れがあります。

